

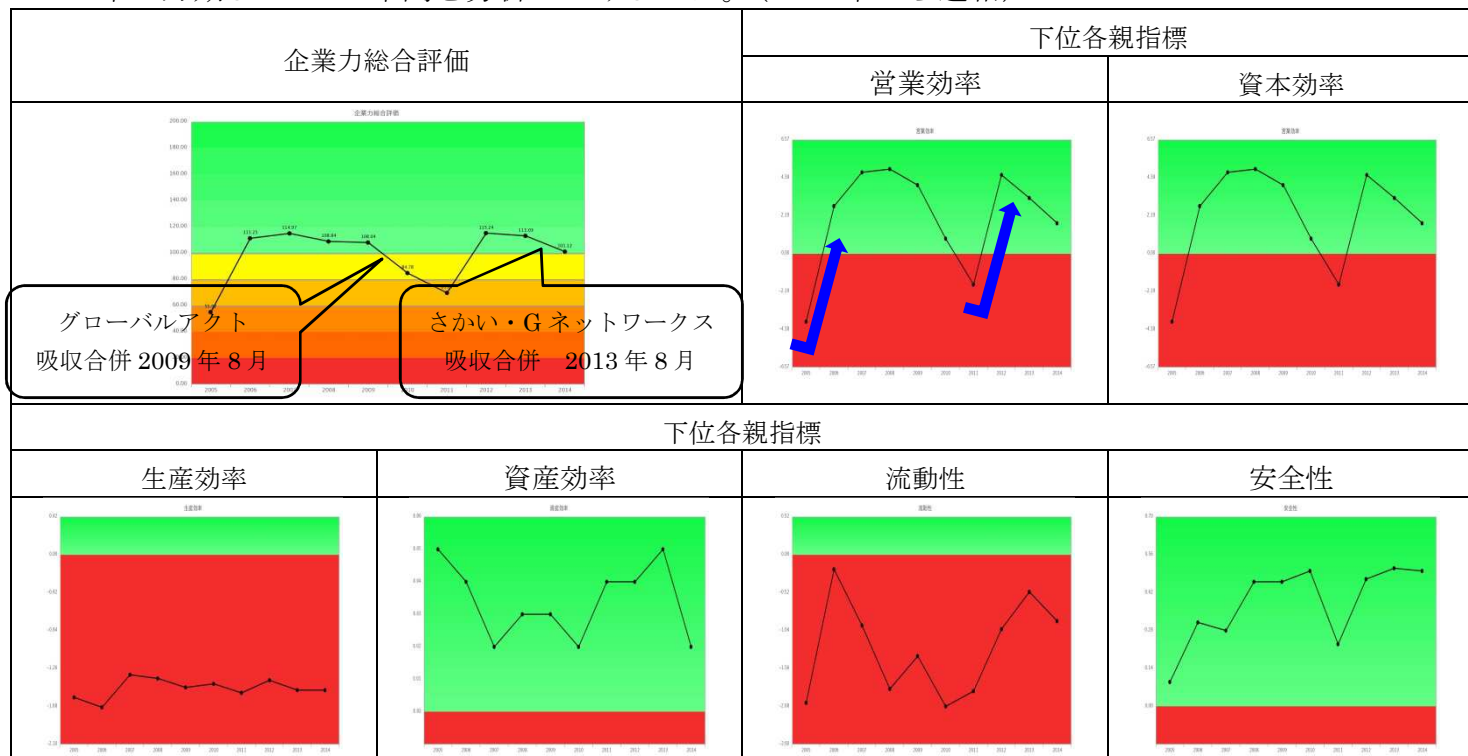
# SPLENDID21 NEWS

<http://sp-21.com>

第105号  
2014年8月15日発行  
毎月15日発行

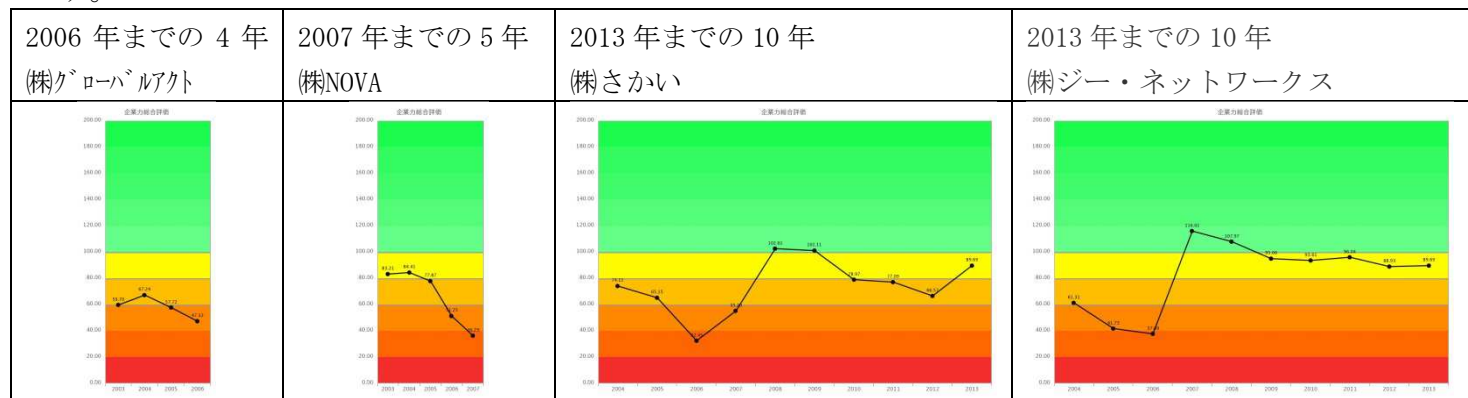
今回は、株式会社ジー・テイストを分析してみました。外食事業で、自社ブランド43業態、約700店舗を展開しています。とりあえず吾平、村さ来、焼肉屋さかい、平禄寿司などのお店名の方が有名かもしれません。そして、英会話学校NOVAのフランチャイジーです。普通の飲食業特化型の会社ではなさそうです。

2014年3月期までの10年間を分析してみました。(2014年から連結)



企業力総合評価は 55.02P→111.25P→114.97P→108.84P→108.04P→84.78P→69.67P→115.24P→113.09P→101.12P と推移しています。60ポイント以下が破綻懸念領域ですから、2005年、2011年あたりは厳しい経営状況であったことでしょう。

この(株)ジー・テイストは、業績の良くない会社を引き寄せます。以下は吸収合併した会社(株)グローバルアクト、(株)さかい、(株)ジー・ネットワークス)、フランチャイジーをしている会社(株)NOVAの分析です。



(株)ジー・テイストの営業効率(儲かるか)は、2005年、2011年は赤信号領域にあります。しかし、翌年、青信号領域に一気に改善していております。この反発力は見事です。(青矢印)  
資本効率(資本の利用度)も同様の動きをしています。  
生産効率(人の利用度)は、赤信号領域に嵌っています。飲食業は、業界平均値以上であったとして

も、赤信号領域に嵌ります。SPLENDID21の分析がおかしい訳ではなく、飲食業は経営が不安定な会社が多いと言われる所以なのです。業界平均を超えても安心ではなく、更にはどう上げるかを志向しなければなりません。SPLENDID21の分析は、何を意味しているかを考えなければ、答えは出ません。

資産効率(資産の利用度)は青信号領域、グラフの変動が激しいようです。このような会社は総資産の変動が大きい会社が多くみられます。吸収合併をしている事実がそれを物語っています。  
流動性(短期資金繰り)は、10期連続赤信号領域です。飲食業は流動性が赤信号領域になること多くあります。業種的に、売掛債権、棚卸資産が少なく、現金預金も少なく経営できる為です。業界平均以上でも赤信号領域にあることが多く、生産効率同様のことが言えます。  
安全性(長期資金繰り)は、変動しながら青信号領域を改善トレンドです。

如何でしょうか。SPLENDID21NEWSを良く読んでいらっしゃる方は、(株)ジー・テイストのバイタリティに感心する反面、もう少し、企業力をつけてから、業績の悪い会社を引き上げる方が、良いのではないかとと思われるのではないのでしょうか。企業力総合評価が110ポイント程であれば、業績が悪化すればあつと言う間に80~100ポイントの黄信号領域になってしまいます。業績の悪い会社のM&Aは入手コストが低く、規模拡大に効果がありますが、全体のバランスを見れば、一時的に成長とは反対の方向に進みます。

最後に営業効率の各下位指標を示しておきます。2013年までは個別財務諸表、2014年は連結財務諸表を分析しています。

横に数字を追いかけて行くと、利益率を急改善させることが上手で、その為、業績の悪い会社を立て直す自信を持った会社と推察されます。

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
売上高合計	10,349,721	12,120,649	12,858,566	14,050,840	13,429,325	15,966,552	17,197,104	16,901,523	15,503,770	23,737,497
売上総利益	6,015,131	7,225,444	8,030,064	8,971,646	8,579,312	10,441,378	11,223,819	11,025,407	10,076,245	15,275,949
売上高総利益率	58.12%	59.61%	62.45%	63.85%	63.88%	65.40%	65.27%	65.23%	64.99%	64.35%
営業利益	▲299,892	451,676	853,864	964,630	596,198	263,657	▲198,998	1,172,196	774,748	846,833
売上高営業利益率	▲2.90%	3.73%	6.64%	6.87%	4.44%	1.65%	▲1.16%	6.94%	5.00%	3.57%
経常利益	▲268,683	517,877	1,080,005	1,123,548	786,528	401,260	▲75,325	1,120,630	730,066	832,193
売上高経常利益率	▲2.60%	4.27%	8.40%	8.00%	5.86%	2.51%	▲0.44%	6.63%	4.71%	3.51%
当期純利益	▲667,649	119,636	717,890	1,021,224	34,437	292,475	▲2,700,494	794,645	127,978	659,443
売上高当期利益率	▲6.45%	0.99%	5.58%	7.27%	0.26%	1.83%	▲15.70%	4.70%	0.83%	2.78%

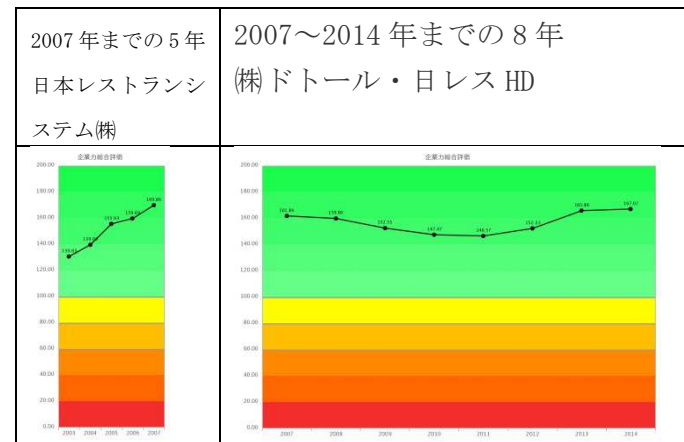
## まとめ

今日は、(株)ジー・テイストを「鳥の目」で遠くから眺めてみました。

財務分析はどちらかと言えば、「虫の目」、近くから細部を見る分析です。しかし、そのみでは大きな傾向を見逃す可能性があります。

(株)ジー・テイストは、企業力はそれほど高くはないけれど、V字回復をするバイタリティにあふれ、業績の悪い会社をM&Aすることで成長を目指していることが分かりました。

優良企業同士のM&Aを果たした、日本レストランシステム(株)と、(株)ドトール・日レスHDの分析を載せます。貴方なら、どちらの経営に魅力を感じますか。



編集後記 私「鳥の目」でいいから、20代にみえないかなあ・・・(#^\_^#)

文責 JY

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-6-19 プロパレス安土町ビル7階D号 株式会社 SPLENDID21

tel 06-6264-4626 info@sp-21.com

過去のNEWS、セミナー情報は <http://sp-21.com>